

直轄河川と支川の合流部における治水対策の促進

1. 要望内容

既設排水機場の能力アップ及び新設に係る事業採択基準の拡充を要望します。

特に直轄河川と支川合流部の治水対策の推進が内水氾濫被害の軽減に寄与することから、排水機場の充実及び新規事業採択基準の拡充をお願いします。

2. 概要

平成24年7月の九州北部豪雨では、久留米観測所において記録的豪雨を観測

>総雨量：469.0mm（7月11日から15日）

>最大時間雨量：71.5mm（7月14日）

九州北部豪雨をはじめとした集中豪雨によって、筑後川や巨瀬川の水位が急激に上昇し、各地の支川合流部のゲートが閉鎖されることでその周辺地域において多くの内水氾濫被害が長時間にわたり発生しています。

直轄河川と支川合流部における排水機場で「能力アップ」や「未設置箇所への新設」が促進されることで、内水氾濫被害が軽減され、「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与することから事業促進、並びに事業採択基準拡充の検討をお願いします。

① 既設排水機場の能力アップ（4箇所）

山ノ井排水機場、古賀坂排水機場、枝光排水機場、陣屋川排水機場

② 排水機場の新設（4箇所）

安武川、不動川、古川、美津留川

